

## 色の心理的効果

色によって、人は何かを連想したり、何かの印象をもったり、心理的なはたらきがあります。与える印象を意識し、色を効果的に使えるようにしましょう。

### 色の連想

青色といえば海や空、緑色といえば木々など、色によって連想されるものがあります。そこから、青はさわやかななどのイメージも思い浮かびます。その色によって連想されるものやその色がもつイメージは、商品パッケージやロゴなどの制作にも利用されています。

#### ■情報高校■

↑ さわやかな印象。

#### ■情報高校■

↑ 活発な印象。

#### ■情報高校■

↑ 落ち着いた印象。

ただし、連想には個人差や、文化の差もあります。たとえば、日本では太陽といえば一般的には赤ですが、欧米では黄色で描かれることが多いです。

### 配色のイメージ

配色からもイメージが伝わってきます。

オレンジ・黄・赤



↑ 暖かい（暖色）

青・水色・藍色



↑ 冷たい（寒色）

オレンジ・黄緑



↑ 快活

黒・灰・赤



↑ モダン

### トーンのイメージ

トーンとは、明度と彩度を含めた色調のことです。同じトーンで配色すると、明度と彩度が似通っているため、調和がとりやすいです。また、色相が異なっても同じようなイメージをもちます。

■ 明るいトーン 高明度・明るく白っぽい



↑ さわやかなイメージ

■ 暗いトーン 低明度・暗く黒っぽい



↑ 大人っぽいイメージ

■ 派手なトーン 彩度が高く色味をはっきりしている



↑ いきいきとしたイメージ

■ 落ち着いたトーン 彩度が低くグレーっぽい



↑ おとなしいイメージ

Lesson  
13

次のイメージを3色で配色してみましょう。

課題1 自然・5月のイメージ

課題2 軽やかな、躍動的な、陽気なイメージ

